

### 第3章 小田急小田原線（新宿～読売ランド前）

2022年4月30日（土）快晴、小田急小田原線（新宿～読売ランド前：営業キロ19.2km）に再挑戦する。この区間の駅舎は、新宿駅を除き20駅もあったが、お蔭様で全駅舎立ち寄りに成功する。最初の挑戦は2000年6月～7月なので、約22年振りの歩きとなる。また、小田急線の複々線工事により、新宿駅から登戸駅までの沿線風景は全く様変わりしていた。



※新宿駅から読売ランド前駅が繋がる

通勤などで様変わりした沿線の風景は見ていたので、少なくとも浦島太郎の存在まではいかなかったが、随所随所で新しい発見に出会い、有意義ある一日となった。これで、リベンジからも新宿～佐相模大野～片瀬江ノ島（営業キロ59.9km）が繋がった。同時に通算営業キロは、**1万3千209km（活動日数645日、日本の鉄道の47.7%）**となった。また地球円周の**33.0%（地球円周の3分の1まであと125km）**に到達した。



※鉄道跡を緑地公園に（ボランティア活動）下北沢駅手前



※鉄道跡が快適な遊歩道に（下北沢駅への路）

本日歩いたコースは、大きく次の三つの区間に分類できた。一つは、路地歩きや鉄道が地下となった「新宿から代々木代田までの区間（複々線）」。二つ目は、高架した鉄道に沿って歩くことができた「世田谷代田から登戸までの区間（複々線）」。最後は22年前と殆ど同じであった「登戸から読売ランド前の区間（複線）」。各駅舎の立ち寄り時刻は次の通り。



※鉄道跡を利用したイベント会場（下北沢駅前）



※広々とした世田谷代田駅前

新宿（8:54）～南新宿（9:19）～参宮橋（9:40）～代々木八幡（10:02）～代々木上原（10:13）～東北沢（10:39）～下北沢（10:58）～世田谷代田（11:30）～梅ヶ丘（11:44）～豪徳寺（11:54）～経堂（12:12）～千歳船橋（12:38）～祖師ヶ谷大蔵（13:08）～成城学園前（13:23）～喜多見（14:01）～狛江（14:18）～和泉多摩川（14:30）～登戸（15:07）～向ヶ丘遊園（15:25）～生田（16:03）～読売ランド前（16:26）

前編である新宿駅から世田谷代田駅までの区間は、小田急線の右側を主として歩く。



※新宿駅、甲州街道

①小田急新宿駅南口で記念写真撮影後、甲州街道経由で南新宿駅を目指す。9時5分、あおい公園先で、甲州街道から南新宿駅への方向に道筋を変更する。運よく交番があり、「南新宿駅への道筋」をお伺いする機会を得る。「この路を真っ直ぐ歩き、小田線踏切を横切った先」にあるとのことであった。9時9分、都営大江戸線新宿駅前を通り、新宿2号踏切（9時12分）を横切り、鉄道の左側を経由して目指す。しかし、南新宿駅が50m位先に見えるが建物や駐車場などがあり直進できず。運よくキャッチボールをしている親子ずれの方が居られ近道を聞く機会を得る。「小田急線の線路下を潜って、道なりに歩く方法が近道です」と教えて頂く。9時19分、やっと南新宿駅に到着する。この駅は、毎年東海大学病院で人間ドックを受ける際の下車駅で馴染みの駅。南新宿駅ホームからよく見かける新宿2号踏切や下車した際の辺りの道筋の風景があり懐かしくなった。



※あおい公園、大江戸線新宿駅、新宿2号踏切



※南新宿駅界隈、南新宿駅



※南新宿駅、参宮橋駅への路

②路地から路地を歩く。9時29分、ヴィクトリア学院前を通過。路地に見頃な沢山の花が咲いていた。この区間も何人もの人にお世話になりながら、9時40分、やっと参宮橋駅に到着。小田急線を跨ぐ、参宮橋手前を線路沿いに歩いた先にあった。駅前には明治神宮への案内板があった。



※ヴィクトリア学院、参宮橋駅への路、参宮橋（橋の下には小田急線）

路地歩きは鉄道と大きく乖離する恐れがあるので、用心に用心して歩いた。また、袋小路で行き止まりとなり、引き返す場面もあった。この駅は、かつて日本年金数理人会の実務研修会の際（西新宿公園界限）の帰り道、何回か利用させて頂いた駅なので懐かしくなった。



※参宮橋駅

③参宮橋駅からは、概ね道路下にある鉄道を左手に歩いた先に代々木八幡駅（10時2分）があった。鉄道に沿った路地を歩き、千代田線が合流する代々木上原駅には10時13分到着。この駅は、2016年10月1日（土）、第63回わいわい会（高松一高歩き会）で千代田線（赤坂～代々木上原）の際、上がり駅であった懐かしい場面が昨日のように思い出された。



※代々木八幡駅への路、代々木八幡



※代々木八幡駅、代々木上原駅への路

④700m 先にある東北沢駅への道筋も鉄道に沿った幹線道路がないため、路地から路地歩きとなる。区間が短いため、行き過ぎないように細心の注意を払う。10時26分、「道路みどり」標識前を通過。10時34分、茶沢通り限界で、ネットで位置関係を確認するが不安となり、右往左往する。運よく、通行人の方に聞いて、正しい道筋を教えて頂きリカバリーできる。それにしても、首都圏歩きは、沢山の方と往来でのすれ違いがあり助かる。地方の歩きとは大違いであった。10時36分、北沢公園を通過した先に東北沢駅（10時39分）があった。駅前には、複々線工事の成実により広々としていた。



※代々木上原駅



※代々木上原駅、代々木上原駅、東北沢駅への路



※茶沢通り、北沢公園



※東北沢駅

⑤東北沢駅から下北沢駅、そして世田谷代田駅にかけて、かつて地上にあった線路が地下に潜ったため、”鉄道案内人”である鉄道や電柱は全く見えず、暗中模索の歩きを余儀なくされた。それ故、22年前の歩きとは全く景色が異なっていた。道筋でお会いした方々のお世話になりながら、方向性を見誤らないよう用心に用心して歩く。10時48分、道筋で植物を植えているボランティア活動メンバーに出会う。線路跡を見事に遊歩道にした道筋を歩き、下北沢駅を目指す。途中、駅前広場には午後から開催予定の将棋・囲碁・オセロ・チェスのイベント会場があった。新しい発見の一場面であった。沢山の人の姿があった下北沢駅には10時58分到着。それにしても、下北沢駅近郊は複々線工事などにより、より粋な街並みに変身していた。



※下北沢駅への路



※下北沢駅

⑥世田谷代田駅への道筋は、今回の歩きで最も苦勞する。700mの区間に32分も要す。この区間は、自分の歩いている道筋が掌握できず、何人もの人に聞いてやっと世田谷代田駅（11時30分）に到着できる。300m位行き過ぎ、遠くに梅ヶ丘駅がうっすら見える先で引き返す場面にも遭遇する。ある意味では、今回の歩きで、下北沢駅から世田谷代田駅までの区間が最も強く印象に残る区間となった。”ウォーキングによる筋書きのないドラマ”を楽しめたからである。



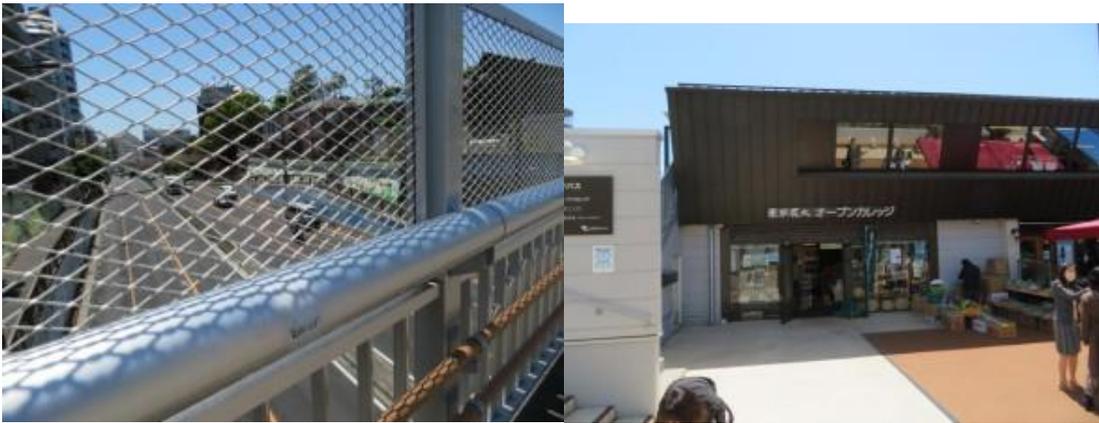
※世田谷代田駅への路



※世田谷代田駅

中編である世田谷代田駅から登戸駅までの区間は、小田急線の高架下の右側を主として歩く。それ故、前編のようなリスクは少なかった。

⑦世田谷代田駅をもう少しで、見過ごすところであったが、地元の人々の助けを得てリカバリできる。環状7号線を跨ぐ代田富現橋1往復半通過する。すなわち、11時23分と11時31分。橋を渡ると東京農業大学産物の野菜や果物などを扱うオープンガレージがあった。この施設も2度通過する。この施設近郊は高台になっており、複雑な線となった小田急線の線路が見えて来る。淡々と歩いた先に梅ヶ丘駅（11時44分）があった。そして、淡々と歩いた先に豪徳寺駅（11時54分）があった。駅前には招き猫があった。少し歩いた先には東急世田谷線の山下駅があった。11時56分、世田谷線を跨ぐ。運よく、下高井戸駅方面の電車がやって来て、2両編成の車両を撮影する機会を得る。



※代田富現橋、東京農大オープンガレッジ



※梅ヶ丘駅への路



※梅ヶ丘駅、豪徳寺駅

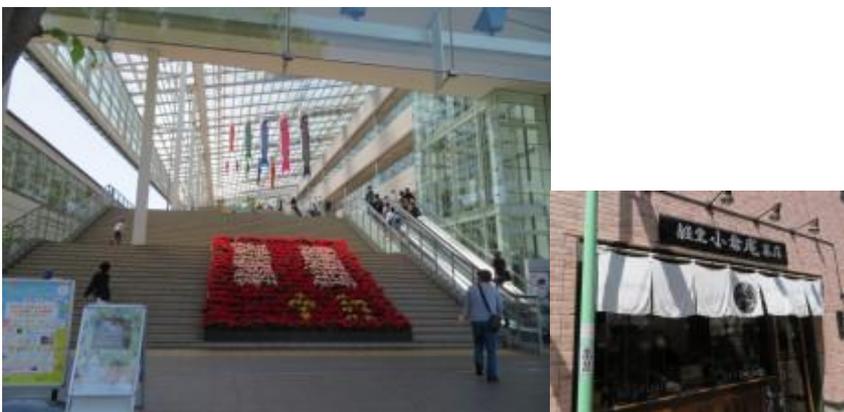


※豪徳寺駅、山下駅、経堂駅への路

⑧小田急線の高架下を淡々と歩いた先に経堂駅（12時12分）があった。高架下は、店舗や駐車場など多目的に活用されていた。道路も高架下に沿って繋がっていた。駅前ビルに入り、小休止。ビルを出た先に経堂小倉庵があったので、”MORE THAN TAIYAKI”を1匹購入し、昼食とする。あつあつの鯛焼きは最高に美味しかった。



※経堂駅



※経堂駅（鯉のぼりあり）、経堂小倉庵

12時26分、噴水がある石仏公園前を通過。本日は少し暑かったので、この噴水を見て涼しく感じられた。千歳船橋駅には12時38分到着。この駅は、フコク生命の事務センター、研修センター、独身寮があった関係で、利用させてもらった駅なので、沢山の懐かしい思い出が湯水の如く登場して来た。10分位立ち止って、商店街を散策する。商店街は様相を変えていたが、”とんかつ浜”があり、懐かしくなった。もし、鯛焼きを食べていなかったら、懐かしい思い出に浸るため昼食をとっていただろう。



※駅前の丸亀製麺、千歳船橋駅



※千歳船橋駅前、とんかつ”浜”



※千歳船橋駅

⑨環状 8 号線の砧二丁目までは小田急線の左側を歩く。砧の地名を聞いて、入社当時の上司を思い出し懐かしくなる。再度鉄道の右側となり、高架下を淡々と歩いた先に祖師谷大蔵駅（13 時 17 分）があった。駅前にはウルトラマンの像があった。13 時 17 分、成城橋に到達。この辺りから、鉄道は高架から地下となる。13 時 23 分、成城学園前駅に到着。10 分位、駅前ビルを散策する。成城学園前駅は、線路跡を有効に活用し、小田急バスのターミナル駅となっていた。



※祖師谷大蔵駅



※成城橋、成城学園前駅



※成城学園前駅

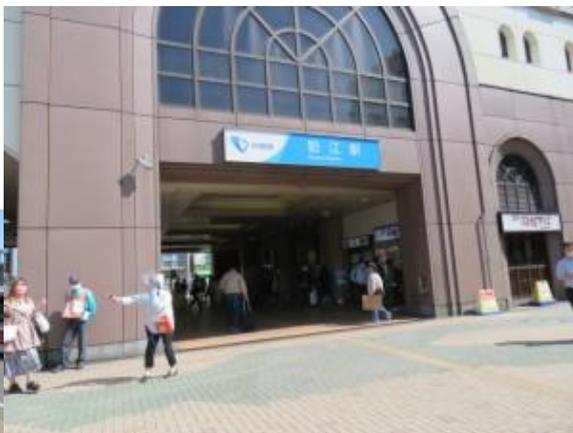
⑩13時48分、急な坂を下る。13時50分、小田急線下を潜る。13時53分、万歩計で239歩ある野川を渡る。この辺りには小田急の車両基地があった。13時57分、小田急線下を潜り、鉄道の右側となる。喜多見駅には14時1分。高架下には王将があった。そして、1100m歩いた先に狛江駅があった。この駅前には、ある政党の演説があった。部分的なスペースに迫力を感じなかった。淡々と歩いた先に和泉多摩川駅（14時30分）があった。この駅の直ぐ先には多摩川があった。



※喜多見駅への路



※喜多見駅



※狛江駅



※和泉多摩川駅

①多摩川を渡るため、世田谷線（国道3号線）に合流する。633歩ある多摩水道橋（たま川）を渡る。多摩川の広場では、サッカーなどを楽しむ小学生の姿があった。14時42分、橋の中央辺りで東京都から神奈川県となる。世田谷線から道路下に下りる路はなく、500m位行き過ぎることを余儀なくされる。この辺りも若い頃登戸に住んでいたもので懐かしくなった。途中、南武線を横切る。迂回となった道筋も戻り、南武線が合流する登戸駅には15時7分到着。この駅は、昨年9月から10月にかけて武蔵野線をリベンジする際、利用させてもらった駅なので、その残像が強く残っていた。



※多摩川を渡る、東京都と神奈川県の都県境



※多摩川の河原でサッカー、南武線、登戸駅への路



※登戸駅

後編である登戸駅から読売ランド前までの区間は、小田急線の右側を主として歩く。2000年6月3日（土）、千歳船橋駅から自宅まで歩いた懐かしい記憶が蘇る。この時は、読売ランド前までは小田急線を鉄道つたい歩きをしたが、読売ランド前駅以降は、鉄道に関係なく、路に迷いながらひたすら自宅を目指した。桐蔭学園やこどもの国などを経て、やっと自宅に到着した。この時のミステリーによる感動は今でも忘れない。そして、「メイクドラマを味会う」、「歩きがぶれないようにする」ため、カッシー館に公開している”こだわり鉄道つたい歩き九カ条”を策定したような気がする。



※向ヶ丘遊園駅（若い頃と同じ顔をした駅舎）

⑫向ヶ丘遊園駅は若い頃住んでいたもので、千歳船橋駅と同様、駅舎を拝顔するや懐かしさが込み上げて来る。買い物などで通った道筋を歩き、向ヶ丘遊園駅を目指す。懐かしい駅舎である向ヶ丘遊園駅には15時25分到着。私が住んでいた頃は、駅前に映画館などがあり、賑やかであった。しかし、今では更地となって大きく様変わりしていた。向ヶ丘遊園駅は快速急行の登場により、南林間駅や長後駅と同様寂れたような気がする。加えて、向ヶ丘遊園地の閉鎖により。栄枯盛衰の世の常を痛感した。



※向ヶ丘遊園駅への路、向ヶ丘遊園駅前（北口）

⑬小高い丘が鉄道の左右に登場する。15時45分、川に沿ったマイファーム前を通過。15時48分、川崎市立東生田小学校前を通過。15時53分、東生田歩道橋交差点で国道3号線に合流する。町田15km、新百合丘5kmと記した道路標識があった。生田駅には16時3分到着。



※マイファーム、川崎市立東生田小学校



※町田15km・新百合丘5km地点、生田駅

⑭16時16分、小田急バスターミナル前を通過。16時23分、生田4号踏切を横切り、  
鉄道の左側となる。16時26分、終着駅の読売ランド前駅に到着。これで、新宿駅から  
片瀬江ノ島駅までが繋がり、リベンジではあるが達成感に浸ることができる。自宅には  
17時39分到着。



※読売ランド前駅、小田急バスターミナル、読売ランド前駅



※読売ランド前駅